

## 企業を取り巻くリスクの変化とセキュリティマネジメント ～最新動向と対応事例～

企業・組織を取り巻くリスクは、COVID-19を受けこの1年で大きく変化しました。テレワークの浸透、クラウドの本格利用といった業務形態の変化だけでなく、サイバー脅威状況も刻々と変わりつつあり、情報セキュリティの観点においてもそのリスクマネジメントの重要性が高まっています。

今回も、リスクマネジメントや情報セキュリティ分野において最前線で活躍されている有識者をお招きし、知識の獲得、スキルアップを目的に、ISACA東京支部がカンファレンスを開催いたします。初めてのオンライン開催となります。皆様のご参加をお待ちしております。

### 日時

**2021年2月20日（土）**  
14:00-18:05

### 開催形態

オンライン開催  
(Zoom Webinarを予定)

### CPE

200分のCPEに相当します。  
(ISACA継続教育 4CPE相当)

### 参加申込

<https://bit.ly/cismconf9>

### 参加費用

**一般 2,500円 / ISACA会員・後援団体 1,500円**

- ・ メールでのお申込みはお受けできません。

### お申し込み期限

**2021年2月19日（金） 17:00**

主催：ISACA東京支部  
後援：(ISC)2 Japan Chapter  
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)  
日本シーサート協議会 (NCA)  
特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会(JASA)

14:00	開会	開会/ISACA東京支部よりご挨拶
14:05-15:05	講演1	最近のサイバー攻撃とインシデント対応のポイント JPCERTコーディネーションセンター インシデントレスポンスグループ部門長 椎木 孝斉 様
		質疑応答 (10分)
15:05-15:10		休憩 (5分)
15:10-16:10	講演2	業務執行として再考する情報セキュリティ ~CISOハンドブック Ver 2.0のご紹介~ 株式会社Preferred Networks 執行役員 最高セキュリティ責任者 (CSO) 高橋 正和 様
		質疑応答 (10分)
16:10-16:20		休憩 (10分)
16:20-16:30		CISM資格のご紹介
16:30-18:00	講演3	最前線レポート：情報セキュリティマネージャーが知っておくべき企業の危機管理 一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会 理事 社会情報大学院大学 教授 Zeus Consulting Inc. 代表取締役社長 CEO 白井 邦芳 様
		質疑応答 (10分)
18:00-18:05	閉会	閉会挨拶/アンケート・CPE説明

14:05-15:05 講演1

## 最近のサイバー攻撃とインシデント対応のポイント

### 概要

COVID-19によって組織の働き方が大きく変化する中においても、日本の組織を狙ったサイバー攻撃は継続して発生しており、その脅威やリスクについて正しく理解し、対応することが求められています。

本講演では、JPCERT/CCが確認した最近の特徴的なサイバー攻撃やインシデント事例について紹介するとともに、情報セキュリティマネージャーとして押さえておきたいインシデント対応に関するポイントについてお話しします。



### 講師

JPCERTコーディネーションセンター  
インシデントレスポンスグループ部門長  
椎木 孝斉 様

### 略歴

前職でシステム開発、情報セキュリティサービス等を経験した後、2005年にJPCERT/CCの一員となる。2006年からサイバー攻撃に使用されうる技術（アーティファクト）の分析業務の立ち上げおよび実施に深く関わり、以後、インシデントに関連したマルウェア等の分析、インシデント対応調整業務等に従事。CISSP、CISA。

## 15:10-16:10 講演 2

# 業務執行として再考する情報セキュリティ ～CISOハンドブック Ver 2.0のご紹介～

### 概要

近年、経営として取組むセキュリティの重要性が指摘されていますが、単に、経営者がISMSを理解することを求めているに思われます。しかし、経営者の責務は経営でありセキュリティではありません。経営者がセキュリティを理解することを期待するよりは、CISOをはじめとするセキュリティ担当者が経営陣の一員として、セキュリティ業務の執行を目指す方が現実的であり実効性があるのではないのでしょうか。

CISOハンドブックは、経営会議でCISOが報告すべき事項に関するディスカッションを起点とし作成されたもので、CISOが経営陣の一員として活動するために必要な視点とフレームワークをハンドブック形式にまとめています。

本講演では、CISOハンドブックの概要と、本書で述べているセキュリティを業務執行とするためのポイントをご案内します。

CISOハンドブック(2018) [https://www.jnsa.org/result/2018/act\\_ciso/](https://www.jnsa.org/result/2018/act_ciso/)

MY CISOハンドブック(2019) [https://www.jnsa.org/result/2019/act\\_ciso/index.html](https://www.jnsa.org/result/2019/act_ciso/index.html)

## 講師

株式会社Preferred Networks 執行役員 最高セキュリティ責任者 (CSO)  
高橋 正和 様

### 略歴

基本ソフトの開発、品質管理等を経て、1999年にインターネットセキュリティシステムズ (現IBM)に入社。セキュリティコンサルティングビジネスの立ち上げ、セキュリティオペレーションセンターの構築支援、CIOとして社内ITシステムの構築運用、CTOとしての技術統括などを担当。

2006年に、日本マイクロソフト株式会社 チーフセキュリティアドバイザーに就任。マイクロソフトの製品やサービスに関するセキュリティの取り組みや、セキュリティモデルについて啓発活動を行う。また、工作機械メーカー、自動車メーカー等が取り組むIoTセキュリティについてのアドバイザーとしても活動。

2017年10月より、AI系ベンチャー 株式会社Preferred Networks セキュリティアーキテクト、CISOに就任。2018年5月より 執行役員 最高セキュリティ責任者。

日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)副会長  
日本セキュリティマネジメント学会(JSSM) 執行理事 企画部会  
関東管区警察局 サイバーセキュリティアドバイザー



## 16:30-18:00 講演3

### 最前線レポート：情報セキュリティマネージャーが知っておくべき企業の危機管理

#### 概要

個人情報データや機密情報の流出が後を絶たない。外部からの不正アクセスに伴う情報流出で攻撃対象となった企業や従業員へのソーシャルエンジニアリングによるデータの不正持ち出しの現場で何がリアルに起きているのか、情報セキュリティマネージャーが知っておくべき予防管理と有事の危機管理活動について事例を紹介しながら解説する。さらに、再発防止策において昨今行政より強く要望があった点についても触れる。

#### 講師

一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会 理事  
社会情報大学院大学 教授  
Zeus Consulting Inc. 代表取締役社長 CEO  
白井 邦芳 様

#### 略歴

早稲田大学卒。米国外資系保険会社で危機管理担当役員などを歴任。日本・米国を含む世界の各地で2700事例以上の豊富な対処経験をもとにリスクマネジメントの第一人者としてドラマの原案及び監修（フジテレビ「リスクの神様」2015年、NHK「フェイクニュース」2018年等）でも活躍。経営戦略研究所講師。一般財団法人リスクマネジメント協会顧問。日本法科学技術学会正会員。（株）産業再生機構支援先企業の企業再生、リスク管理に深く関与し、著書「リスクマネジメントの教科書」「会社の事件簿」「企業の危機管理コンサルティング」「循環取引対策マニュアル」など多数。



## 資料

配布可能な講演資料は2021年2月上旬頃を目途に、ISACA東京支部ホームページ上で公開いたします。

**<https://www.isaca.gr.jp/cism/cismconf2021.html>**

## お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- お申込みに際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回のカンファレンス案内に使用させていただくことがあります。

## CPE証明

CPE証明については、セミナーの中でご案内します。  
200分のCPEに相当します（ISACA継続教育 4CPE相当）。

## お問い合わせ

**[cism-conf@isaca.gr.jp](mailto:cism-conf@isaca.gr.jp)**（ISACA東京支部CISMカンファレンス担当）